

令和元年度 鴨居中学校 キャリア教育 実施報告

『自らの将来を考える！～横浜市の交通を考える仕事の視点から～』

1 キャリア教育の概要

- 横浜市立鴨居中学校では、様々な仕事に携わる人々の話を聴く職業講話を行っています。都市整備局都市交通課は「横浜市役所の仕事～横浜市の交通を考える仕事～」をテーマに出前授業を実施しました。
- 今回の出前講座のねらいは、市役所の仕事について、バス等の公共交通に関する仕事内容を例にして説明し、市役所の仕事や身近な交通に興味・関心を持ってもらうことにあります。

■キャリア教育について

- 【日時】 令和2年1月23日(木)
前半 13:25～13:55
後半 14:20～14:50
- 【対象】 鴨居中学校 1年生(約40人)
- 【目的】
- 生徒が、将来の職業や働くことの意義を考え、自己の生き方について考える機会を作る。
 - 実社会に必要な心構え、態度、マナーについて学ぶ機会を作る。
- 【内容】 説明用パワーポイントを用いた講話
- ▼主なテーマ
- 市役所の仕事、交通の仕事
 - モビリティマネジメントについて
 - 具体的な業務の流れや心掛け
- …など

2 「横浜市の交通分野で働く人のお仕事」の講話

- 今回の講話では、市役所の役割や交通の仕事、まちづくりの考え方について、説明用のパワーポイントを用いて話しました。
- モビリティマネジメント啓発日めくりカレンダーの制作過程を例に挙げ、市役所の職員の役割について説明しました。
- 1割程度の生徒が、これまで「モビリティマネジメント」という言葉を聞いたことがあるとのことでした。

■講話に用いた説明用パワーポイント

市役所の仕事

- 横浜に住むみなさんが便利で、安全・安心に暮らせる理想となるまち姿を考える。
- 利用が減ってきたバス

すぎると…

- 北極の氷がとけだしたり…
- 大雨が増えたり…
- 極端な高温に なったり…

この大きな原因の一つがクルマの排気ガスやごみを燃やしたりすることで **二酸化炭素**と言われています

3 キャリア教育を終えて

- 生徒たちは今回の出前講座で交通に関する仕事に触れ、交通のまちづくりに興味・関心を持ち、公共交通を維持することの必要性について考えるきっかけとなることを期待します。
- 生徒たちに、普段からバスに乗るか尋ねたところ、普段からよく乗ると答えたのは3割程度でした。講話の中で、バス利用者が少ないと将来バスがなくなってしまうかもしれないということを知ると、今後は積極的に公共交通を使いたいという感想が聞かれました。
- 今回を契機に、バスを身近な乗り物と認識してもらい、日ごろからバスを使ってお出かけを楽しんでもらえたらと思います。

■モビリティマネジメント啓発日めくりカレンダー

